

活動報告

団 体 名	災害支援ふくおか広域ネットワーク
活 動 名	県南部の早期復旧のための各種コーディネート（情報共有会議、広域調査）
活動期間	2021/08/15～2021/09/30
活動の成果	●対象者における変化 ・久留米市の被災地については、例年被災をしている中で、昨年度実施した「床下対応講習会」（※自助（自力）で浸水した床下を清掃するノウハウを伝授することが主目的）の実績が認知され、今年度もコロナ禍で制約が多かった中でも即応的に開催でき、自助を強化する側面支援を図ることができた。（このプロセスでは、久留米市・同市社協および日本赤十字社福岡県本部と協働することもできた） ・早期の現地査察およびニーズキャッチを行ったことで、被災世帯および災害ボランティアセンターを取り巻く多様な関係者向けの情報提供やコーディネーションを即応的に行うことができた。 ・令和2年の被災を契機に、久留米市内に多様なセクターからなる民間のネットワーク組織（ハッシュ）が始動しているが、今回の災害でキー組織となり、こちらをカウンターパートナーとしたことで、地元でのセクターを超えた面的なつながりが増幅した。 ・マルチステークホルダーでの連携体制がみえてきたことで、それまで明確でなかった行政側の担当部署が明確となり、情報共有を図りやすくなった。 ●地域における変化 ※前項「●対象者における変化」を踏まえて以下記載 ・被災世帯の自助力が増した。 ・久留米市では、必ずしも「災害支援」を主旨としない関係者の協力・参加を得ることができるようになった。 ・福岡県および福岡県社会福祉協議会が、積極的に災害関連情報を提供していただけるようになった。これにより、被災地支援のスピード感が増している。
寄付者へのメッセージ	ご支援に心より感謝を申し上げます。 こちら福岡県の南部はここ数年来、立て続けに被災をしているエリアです。それゆえ自力で対応できるご世帯もみられるようになった一方、おひとり暮らしの高齢者・障がい者などのご世帯の中には、外部からのサポートが行き届くには時間がかかってしまうこともしばしばです。 そのような中、皆さまのボラサポを通じた温かなご支援は、私たちの背中を大いに押していただいています。今後も、いつどこでどのような災害が起こるか分かりませんが、いつどこでどのような災害が起きても、みんなで力を合わせて乗り越えられるような温もりのある社会になればと切望しています。 ご支援に、重ねて感謝を申し上げます。

(活動のようす)

